

No. 15【2012年7月13日配信】

聖徳公園の「明治天皇御渡海記念碑」(担当:葛西)

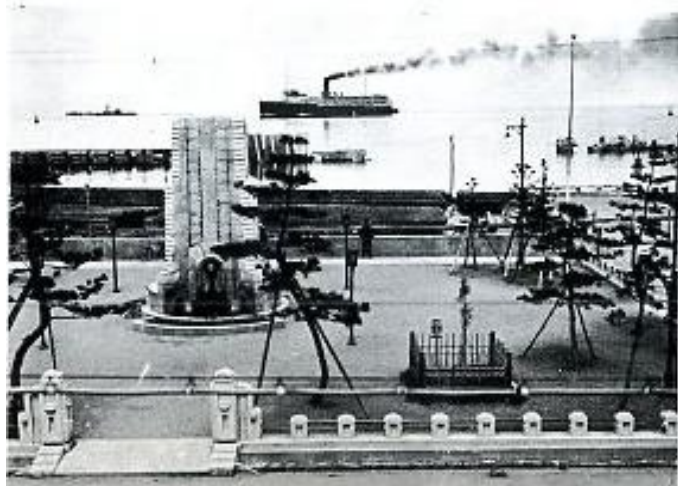
初めまして。私は、市史編さん室の事務を担当している葛西です。

さて、毎日の事務仕事に追われる中、いろいろな問い合わせがあります。今日は、その中のひとつを紹介したいと思います。

編さん室に異動したばかりの頃、図書館で『青森市史』第1巻教育編(昭和29年 青森市)を閲覧された県外の方から、口絵写真の記念碑「明治天皇 ^{りんぎょ}臨御之校の碑」(こちらの石碑の紹介は、次回にします)、「明治天皇 御渡海記念碑」を訪ねてみたいので、現在の所在を教えてくださいとの問い合わせがありました。

私は、青森市に何十年も住んでいながら、問い合わせの記念碑について、まったく分からず、^{がくぜん}愕然としてしまいました。

編さん室にある資料を調べていくと、「明治天皇 御渡海記念碑」は、『目で見える青森の歴史』(昭和44年 青森市)に「^{せいとく}聖徳公園」の写真があり、この公園内に同じ記念碑が写っているではありませんか!



「戦前の聖徳公園」
(青森市発行『目で見える青森の歴史』より)



「閑院宮殿下をお迎え奉り関係者一同撮影」
(青森市発行『目で見える青森市の歴史』より)

その写真の説明によると「聖徳公園は、明治天皇が明治9年、同14年に東北及び北海道地方の産業開発等の視察に際して、この青森埠頭から渡海されたことにより、ここが本市の最も由緒深き遺跡であるので、記念碑を建て保存しようと、『建設会』を組織し、一般市民から建設費の募金をはじめ、昭和5年8月に起工し、同年10月末、竣工した。昭和6年6月に管理の万全を期するため、『建設会』から青森市に寄付移管の申し出があり、昭和6年7月16日開園式を挙行了た。その後、聖徳公園は、何度か移転した。」とのことです。

碑の除幕式は、昭和5年、明治節（明治天皇誕生日）にあたる11月3日に行われました。また、「景仰聖徳」と関院宮様かんいんのみやによる題字があり、側面にライオンのような頭像が埋め込まれていて、ヨーロッパ風の印象的な記念碑です。



「景仰聖徳」の題字



ライオンのような頭像

聖徳公園には、いろいろな碑があり、「海の記念日発祥の地」という碑も建っています。そういえば7月16日(月)は、「海の日」でしたね。



「海の記念日発祥の地」の碑



明治天皇が乗った明治丸の主錨を複製したもの

明日からの三連休、ベイエリアでは、「海の日」関連イベントが開催されます。八甲田丸で「港フェスタ（詩のボクシングなど）」、青い海公園で「安瀉みなとまつり（花火大会など）」等イベント満載ですので、この機会に「聖徳公園（青い海公園の東隣り）」に足を運んで、記念碑を探してみてもはいかがでしょうか？

この情報が少しでもお役に立てたら嬉しいです。